



審査会の様子

入選作品を決定！

9月16日 明るい選挙啓発ポスターコンクール審査会を開催

市選挙管理委員会と、市明るい選挙推進協議会が、明るい選挙啓発ポスターコンクールの審査会を市役所伊豆長岡庁舎で開催しました。

小学生の部27点、高校生の部1点の応募があり、委員15人が、カラフルに描かれたポスターを一つ一つ丁寧に審査し、入選6点と佳作6点を決定しました。入選作品は県のコンクールへ提出しました。

ベンチで笑顔の花を咲かせよう

9月17日 伊豆の国市ベンチプロジェクトを紹介します！

市では、2016年6月から「ベンチ」から広がる地域コミュニティづくりを企画しています。

ベンチは、この約5年間で、市内57箇所94基設置されています。これらのベンチは「誰がいつ行ってもいい」自由なふれあいの空間です。市内のさまざまな場所に、このプロジェクトで作られたベンチが設置されていますので、皆さんの身近にある、作り手の思いの詰まった温かいベンチを、ぜひご利用ください。



ベンチをメンテナンスする地域住民（千代田区）



記念撮影

市民サービス向上を目指して

10月1日 大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結

10月1日、市民の健康づくりの推進や熱中症対策、災害緊急時の支援などを目的とし、大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結しました。また、協定締結に伴い、伊豆長岡庁舎正面玄関前に同社の災害用自販機を設置しました。締結式で、山下市長は「協定は当市にとって心強い。また、自販機設置によって有事の際だけでなく日常においても健康食品が手に入りやすくなった。」と感謝の言葉を述べました。

市長の目指すまちづくりを支える

10月1日 磯崎副市長が市役所に初登庁しました

10月1日、磯崎猛（いそぎまたけし）副市長が、市役所伊豆長岡庁舎に初登庁しました。

山下市長から選任書を交付されたのち、磯崎副市長は「これまでの私の経験と、地方自治の最前線で市民の暮らしに寄り添う職員の皆さんの考えを融合し、市民の皆さんのために取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。



就任の意気込みを語る磯崎副市長



一つ一つ丁寧に作業

安心して学校生活を送るために

8月20日 学校施設の水栓交換ボランティアを実施

市上下水道協同組合が、社会貢献活動の一環として毎年行っている市内小中学校の水栓（水道の蛇口）交換を実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、市内6小中学校で、既設の水栓の一部を手と直接触れる部分を抑えられるレバーハンドルタイプへ取り替えました。

新学期も子どもたちに安心して学校生活を送ってほしいとの思いから、一つ一つ丁寧に作業していました。

支所でできる手続きが増えました！

9月7日 オンライン窓口の実証実験を開始！

市では、大仁支所・葦山支所で、伊豆長岡庁舎と同様に各種手続きが完結できるよう、ICTを活用した整備を進めています。今回、㈱グラファ―との協同により、スマート申請とビデオ会議システムを組み合わせ、今まで各支所ではできなかった、転出届と国民健康保険の脱退届をオンラインで受け付けをする実証実験を開始しました。期間は、12月28日まで。期間中は大仁支所・葦山支所でも転出届と国民健康保険の脱退届の手続きを行うことができます。



山下市長がオンライン窓口を体験



モンゴル国パラリンピック柔道チームとの記念撮影

パラリンピックお疲れさまでした

9月3日 モンゴル国パラリンピック柔道チーム表敬訪問

東京2020パラリンピックに出場したモンゴル国柔道チームが、9月3日、山下市長を訪問しました。

モンゴル国パラ柔道連盟のツァーガンバートル会長は「歓迎に感謝します。伊豆の国市と今後もスポーツを通じた交流を続けていきたい」と話していました。

大会を終えた選手たちはリラックスした様子で、自己紹介などを行っていました。

感動と勇気をありがとう

9月10日 梶原悠未選手へ感謝状を贈呈

東京2020オリンピック自転車競技オムニウム種目に出場し、銀メダルを獲得した梶原悠未（かじはらゆうみ）選手に、伊豆の国市長・伊豆市長連名による感謝状を贈呈しました。梶原選手は、伊豆の国市や伊豆ベロドロームに練習の拠点を置き、トレーニングを重ねてきました。今大会で、自転車競技では日本人女性初のメダルを獲得するなど、市民に多くの感動と勇気を与えたことを称え、感謝状を贈呈しました。



感謝状・銀メダルを手に記念撮影